

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	特定非営利活動法人なかよし会 なかよし教室			
○保護者評価実施期間	2025年2月19日		～	2025年3月3日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30名	(回答者数)	25名
○従業者評価実施期間	2025年3月14日		～	2025年3月21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月26日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	通所生一人ひとりが、学齢期を経て、成人期に移行した際にも、住み慣れた地域で日常生活を送ることができるよう、公園清掃や廃品回収等、地域貢献活動を活動に取り入れ、毎月定期的に実施していること	<ul style="list-style-type: none"> 公園清掃や廃品回収は「お仕事」の要素が含まれます。通所生が、意欲的に取り組めるように、その活動の後には、コンビニ等へ行き、個別に好きなおやつを購入できる機会を設けています。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の方々に、当事業所の存在を知ってもらうため、地域のイベントにお誘いいただいた際には、参加したり、廃品回収にご協力いただける方を新規に募る等、広報活動にも力を入れていきたい。
2	施設環境がよいこと	<ul style="list-style-type: none"> 個別にロッカーを設けて、そのロッカーには写真を貼っているため、「自分のロッカー」と通所生自身が捉えられるように工夫しています。 キッチン設備があるため、それを活用し、おやつづくりや調理活動を定期的に実施しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 通所生自身が「わかりやすい」物の配置、また行動をしやすい環境づくりや動線の見直しを実施していきます。

3	保護者会活動を実施していること	<p>・保護者会があるということが、保護者の方々にとって、「負担である」と感じる部分はあると思うが、極力その負担を減らせるよう、保護者会活動の内容については、毎年見直しを行っています。また、少しでも当事業所の活動の様子を見ていただけるよう、保護者会で活動の様子をまとめたスライド上映等を実施しています。</p>	<p>・今後も保護者会活動自体は継続していきますが、その中で講師の方を呼んだり、相談支援事業所等とも連携を取りながら、研修会等の企画や開催ができるとういと考えています。</p>
---	-----------------	---	--

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	定員数を満たしている状況により、通所のニーズに応えることができていない	定員数が1日に10名と決まってしまうため、通所のニーズがあっても、応えることができないことが現状である。	<p>・現通所生の方、新規に通所を希望されている方、いずれの通所のご希望については、応えていきたいと考えている。通所に空きが出た際には、迅速にお声掛けをして、調整していきたい。</p>
2	個別面談が1人あたり、年間1回の実施となっている。	<p>・1人あたり、個別面談を2回実施していくというスケジュールの組み立てができていなかった。</p>	<p>・保護者の方全員を対象に個別にアンケートを実施し、面談の頻度や形式等を個別に相談して決定していくようにしたい。</p>
3	きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会を設けることができていない。	<p>・保護者会の定期開催をして、保護者同士また職員と保護者の親睦を図ることにつながっていると感じている。けれども、現状では、きょうだいの参加も可能なイベントの開催をすることを企画することに留まっている。</p>	<p>・きょうだい向けの支援がどのような形式であれば、運営に取り入れていくことができるのか、職員全体で検討する機会を持っていきたい。しかし、現状では、「ご家族」という括りでの支援を拡充していく方が先決であると感じている。</p>